

カリフォルニア大学デービス校
English for Science and Technology 2016
参加支援

カリフォルニア大学デービス校のプログラムについて、下記の通り参加募集の通知を行うと共に、奨学金支援について学内募集を行います。

参加募集および単位付与について

I. 概要 カリフォルニア大学デービス校のプログラムが参加者を募集しています。本プログラムへの参加には本学の単位の修得が可能です（下記V参照）。なお、プログラムへの応募から渡航まで、応募者（参加者）が責任を持って行う必要があります。プログラム詳細は別添資料及び対象校ホームページを参照。

4月26日（火）12:30-13:30 及び5月18日（水）12:30-13:30 に参加応募の手続きオリエンテーションを行います。手続き支援を希望する方は、事前に連絡の上、留学情報館（南6号館4階405号室）に来館して下さい。

II. 対象時期 1st Program: 7月1日～29日

2nd Program: 8月12日～9月9日

※1st Program は、第2クォーターの授業期間に該当するので、参加可能かどうか、所属学院のカリキュラムをよく確認すること。

III. 主催 : UC Davis Extension/ Center for International Education

プログラム プログラム名 : English for Science and Technology

について 理工系分野の英語を習得するための4週間集中コース。プログラム内容は下記のとおり。International students who would like to use English more confidently in the fields of science and technology benefit from this intensive, four-week program. They improve their overall English language skills and develop professional skills - such as critical thinking, oral presentation and intercultural communication - needed for scientists, engineers and technical experts. Program highlights include:

- *Visits to UC Davis campus laboratories and regional high-tech companies
- *Full-time instruction (20+ hours per week)
- *Small classes (about 12 to 16 students)
- *Highly qualified and experienced instructors

*Daily recreational, cultural and social activities

*Optional weekend trips to Napa Valley, Yosemite National Park, San Francisco and Los Angeles

<https://cie.ucdavis.edu/english-programs/english-science-and-technology-4-weeks>

費用：2,040 ドル（学費）、160 ドル（申請料）、95 ドル（学生サービス費）、宿舎等は別途手配の必要あり。

IV. 応募資格

- 応募時点で、本学の正規課程に在籍する者

V. 単位付与に ついて

- 単位付与にあたっては、参加したプログラムの修了証のコピー、およびレポートの提出、報告会への出席が必要です。
- 単位付与の条件、方法等については後日詳細を説明します。
- 以下の単位を修得することが可能です。
 - 1.学部 1 年生および 2 年生の参加については、「英語スピーキング演習第一」または「英語スピーキング演習第二」の単位が付与されます（2 単位）が、グローバル理工人コースの実践型海外派遣プログラムの修了要件とはならないため、3・4 年次に別の実践型海外派遣プログラムを履修してください。
 - 2.学部 3 年生および下記の条件を満たす 4 年生の参加については、「実践型科学技術英語海外研修」の単位が付与されます（2 単位）。
 - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。
 3. 大学院生は所定の手続きを経て、「英語口頭表現演習 CII」等の英語の選択科目の単位（2 単位）が認定されます。

奨学金支援について

VI. 奨学金支援 本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象です。以下の基準を満たした学生には8万円が支給される場合があります。（別途書類の提出が必要です。必要書類については、選考後に説明します。）

* 学内規定により国費留学生には奨学金の支給はありません。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）および国費以外の留学生（東京工業大学基金）
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること➡学業成績書で確認する。下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）+（「評価ポイント2の単位数」×2）+（「評価ポイント1の単位数」×1）+（「評価ポイント0の単位数」×0）／ 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合があります。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者（原則として家計基準に合致する者）➡申立書を根拠とします。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者。

VII. 奨学金支給についての留意事項 助成が決定した者については、以下の事項に対し留意すること

*奨学金の支給は渡航後になります。

*指定する期日までに、自費で航空券を購入し、ビザ取得等を含む全ての渡航手続きを完了すること。

*帰国後、1か月以内に 終了報告書およびレポート を留学情報館宛提出し、単位付与の手続きを行うこと。（レポートの内容については後日連絡します。）

*帰国後、本学において単位認定出来ない場合には、奨学金を返納することになるので、対象プログラムをしっかりと履修すること。

*奨学金支給に必要な書類を定められた期限内に提出すること。

*誓約書に本人及び保証人等の署名を記入の上、提出すること。

*本学の指定する海外旅行保険に必ず加入し、その費用について負担すること。

- *本学の指定する危機管理サービスに必ず加入し、その費用について一部負担すること。
- *8月開講プログラムに参加する学生は、6月15日（水）に開催される海外派遣プログラムオリエンテーションに参加すること。（7月開講プログラムに参加する学生については書類等の説明日時を別途ご連絡いたします。）
- *留学後に、本学で開催される留学報告会等に積極的に参加すること。

VIII. プログラムのウェブサイトに参加申し込み後、必要書類を以下の方法で提出。

応募方法

- 1) 国際部国際連携課へ直接持参（南6号館4階405号室）
- 2) 学内便（メールボックス：S6-9）

IX. 提出書類

- 1) 申請書
- 2) プログラム参加の申し込みが分かる書類
- 3) ビザの必要性の有無、必要がある場合、申請状況が分かる書類（大使館のHP等）

X. 選考

応募者から提出された申請書に基づき、書類審査を行う。

XI.

応募締切

2016年5月10日（火）17時必着（1st Program）

2016年6月6日（月）17時必着（2nd Program）

※応募にあたっては、類主任、学科助言教員、指導教員による承認（願書への署名）が必要になるので、余裕を持って準備すること。

※留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

XII. 提出・問い合わせ先

留学情報館（南6号館4階405号室）：担当：一ノ瀬
電話：03-5734-3412 メール：intl.sgu@jim.titech.ac.jp
※オフィスアワー：9：00～12：00、13：30～17：00